

# ODA

# しゃりん 71

## 沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
Eメールアドレス [sekiren@proof.ocn.ne.jp](mailto:sekiren@proof.ocn.ne.jp)  
ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### 第二十三回沖縄脊連定期 総会・勉強会

去る五月十二日(土)、十三時〜十七時、県総合福祉センター東棟三階・視聴覚室において、第二十三回沖縄脊連総会が、会員約三十名の参加の下、開催されました。総会において特に問題となったのは、平成十九年度予算です。近年県や社協からの補助金や助成金の減額が続いていますが、今年は特に、前年度に比べて、百万円ほどの減額となるこ



とです。これによって、障害者等社会活動推進事業の一つであるスポ・レク活動振興事業が六十八万二千元から0査定になったことで、県に再度、補助金の減額を少なくするように要請すること、平成十九年度予算案は、否決されました。そして、それは別に収入を増やすことの必要があり、役員会にて、検討することになりました。



引き続き「うつ病の予防とセルフケア」のテーマで沖縄県立総合精神保健福祉センター所長仲本晴男氏による勉強会が行われました。うつ病は誰にでもかかる可能性があり、WHOの将来予測では二千二十年には総疾病の第二位になるといわれるほど増えつつあります。

医療機関に早く相談する事で、悪化(慢性うつ病)を防げるということです。うつ病に関連しやすい身体疾患の一つに脊髄損傷も挙げられていますが、我々には特に身近な病気でしょう。講演の後の質疑応答・交流会でも活発な発言が見られました。

(報告・渡慶次)  
写真次ページ



(勉強会の模様)



(交流会の模様)



## 平成十九年度

### 沖脊連役員紹介

#### 【会長】

上里 一之

#### 【副会長】

○伊波 朝一

平田 かおり

#### 【事務局長】

牧志 努

#### 【書記・会計】

○荷川取 礼子

#### 【書記・広報】

○山入端 依子

#### 【監査】

砂川 秀樹

#### 【理事】

州鎌敏美 當間貴志

山城保和 岸本政弘

神里和彦 砂川昭人

野原寿浩 上栄原和雄

横田 清 渡慶次道夫

○仲根建作 仲里 進

○大城昌彦

#### 【相談役】

池原新栄 谷口正厚

○高嶺 豊 岩田直子

○新規役員

### 上与那原寛和さん

#### 日本新記録・優勝

第3回長野車いすマラソンは十五日、同時開催した長野マラソンのコースの一部を使う21、0975キロのハーフマラソンで競った。

今回からクラス分けを行い、男子T52クラスで初出場の上与那原寛和が51分1秒の同クラス日本新記録で優勝した。男子T53／54クラスは広道純(大分県)が44分12秒で制した。女子T52クラスは八

巻知美(福島県)、同T53/54クラスは緑川まり子(東京都)がそれぞれ初優勝した。

強い風に悩まされる選手が多かったが、晴れて路面も乾いた好条件。広道、八巻の記録も、ともに日本記録まで6秒に迫る好タイムだった。4部門に60選手が出場。59選手が完走した。

10人近くの集団に埋もれてのフィニッシュ。派手なガッツポーズもなかったが、男子T52の日本新記録を2分30秒も更新する走り。沖繩か参戦した上与那原が、初出場の長野で大きな記録を打ち立てて快勝した。

向きを変えるやや強い風に苦勞する選手が多かつ

た。上与那原も「気にはなった」というが、「沖繩はもつと強いから」。普段の練習コースは、両側を海に挟まれた一本道。吹きさらしの中だ。

長野を経験した選手と別の大会で話す中で、気候がよく、記録が出やすいコースだと聞いて出場を決めた。コースの下見は「余計なことを考えてしまう」とあえてしなかった。「がむしやらに(T53/54の)速い選手を追えば、記録を出せるだけの練習を積んできたから。」前の選手に食らい付く走りを最後までやめなかった。

35歳だが、本格的に競技を始めてまだ3年。「どんだん力が伸びているのが分かる」と達成感に満ちた

表情。初出場を目指す北京パラリンピックまであと1年余り。「このレースが、これから始まり」と力強くはなした。

(沖繩タイムス抜粋)



### サンライズ知念バリア フリールーム体験宿泊

去る4月10日(火)、ホテルサンライズ知念に新設されたバリアフリールームに、バリアフリーチェックを兼ねたホテル側の招待で体験宿泊をしました。

部屋がある2階までは階

広告(エアー沖繩)

毎月二十日発行  
ODA通巻386号



段昇降機が設置されており、部屋の入口やトイレ、バスルームなども、車椅子利用者が使いやすいように作られています。何ヶ所か不便な点もありましたが、今後利用者の声によって改善され、更に利用しやすくなってほしいと思います。

(報告・山川)

### 日本車椅子バスケット ボール選手権大会参加

去った5月2・3・4日に  
東京体育館にて行われた  
「第36回日本車椅子バス  
ケットボール大会」に九州  
代表として、「沖縄シー  
サークラブ」が参加しまし  
た。1回戦、名古屋WBC  
に62対42で苦戦しなが



らも1回戦を突破しまし  
た。2回戦、三重チャリ  
オツツに68対48で惜し  
くも敗れ、全国レベルの壁  
を突破することが出来ず、  
初のベスト8進出を逃しま  
した。6月に熊本で行われ  
る国体予選(秋田国体)大  
会優勝を目指し、練習に励  
んでいます。

資金造成に協力して頂い  
た皆様に大変感謝しており  
ます。

(報告・前川)



広告(ちはる歯科)

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F  
沖縄県身体障害者福祉協会 ボランティア小規模団体室・しゃりん編集部 上里一之

購読料は会費に含む  
【頒価 二十円】